



交通少年団秋の立哨

隅照燈

その立場立場でなくてほならぬ人になる

発行
平戸市立平戸小学校
文責 校長 永田健治

児童数 312名
教職員数 37名

創立152周年



発行：平戸市立平戸小学校 〒859-5121 平戸市岩の上町1509番地 TEL：0950-22-9230
E-mail：hirado-es@hirado.ed.jp ホームページ：「平戸市立平戸小学校」で検索



令和8年度の折り返しの10月
学びの秋を迎えて

体験活動も充実します



秋の深まりとともに、子供たちの学びにもいっそう落ち着きと広がりが見られる季節となりました。

令和8年度も折り返しを迎え、令和8年も残すところあと3か月です。

一日一日の学びを大切にしながら、実り多い秋となるよう教育活動の充実に努めてまいります。

自学コンテスト

本校では、確かな学力の育成の一環として家庭学習の充実に取り組んでいます。

担任から出された宿題に加え、自主学習に取り組む時間は、自分で課題を見つけて学ぶ力を育てる大切な機会です。復習や興味のあ

力が身につく、自信にもつながります。

また、毎日少しずつでも続けることで、学習習慣が整い、将来の主體的な学びの土台になります。

校内の掲示板には、各学年の発達段階ごとに子供が取り組んだ自学のコピーを掲示して

参考にさせています。

来校された折にご覧ください。

グループ給食

毎日の給食は、食べる力だけでなく、人と

かかわる力も育てる大切な時間です。グループで食べることで、食事のマナーや協力する姿勢、相手を思いやる心が育ち、学校給食の目標である望ましい食習慣や豊かな心の成長にもつながり



ます。

本校では

こうした意義を大切に



しつ、子供たちの様

子や学級の実態にに応じて、グループ給食を無理のない形で実施しています。（感染症流行時期には行いません。）

田助ハイヤ節体験

9月29日（火）、4年生が田助ハイヤ節を体験しました。田助ハイヤ節保存会（代表：

俵屋文代さん）のメンバー7人にお越しいただき指導を受けま

した。保存会の皆さんは小皿を両手に持



ち、子供たちはカスターネットを小皿代わりにして踊り方を学びました。私自身も小皿の持ち方を指導いただき、旧平戸市内の小学校の運動会などで踊っていた

田助ハイヤ節でしたが、今では初めて踊った子供たちがほとんどでした。



長崎県の無形民俗文化財にも指定されている田助ハイヤ節を次世代にも受け継いで欲しいですね。

坂野水産見学

10月1日（木）、5年生が坂野水産様のご協力を得て、平戸の水産業につ

いて学びました。前半は、坂野さん

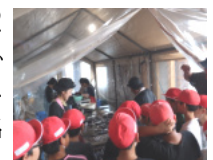
による子供たちの興味関心を引きつける話術で、養殖

している魚の種類や数、餌、養殖業の苦労や喜びなどについて楽しく学びました。

後半は、実際に沖合にある生け簀に行き、

真鯛への餌やり体験や、夏香ブリが餌を食べる様子を見学しました。

また、お姉様（坂野さん）がそう呼んでいました（方が焼きアゴにするアゴを串に刺す作業や、アゴ焼



き名人が炭火で焼く姿を間近で見学しました。坂野水産様のおかげで教科書だけではできない、五感を通して水産業を学ぶことができました。



三園交流会

9月25日（金）本校体育館で、みのりこども園、愛の園保育所、しおかこども園の園児（年長）のみなさんが交流会を行い、楽しく遊んだり、リレーをしたりして仲良く楽しみました。

令和9年度の新一年生は38人の予定（10月1日現在）です。初めて40人をきりました。

